

第6次松川町総合計画

地域づくり会議 ⑤

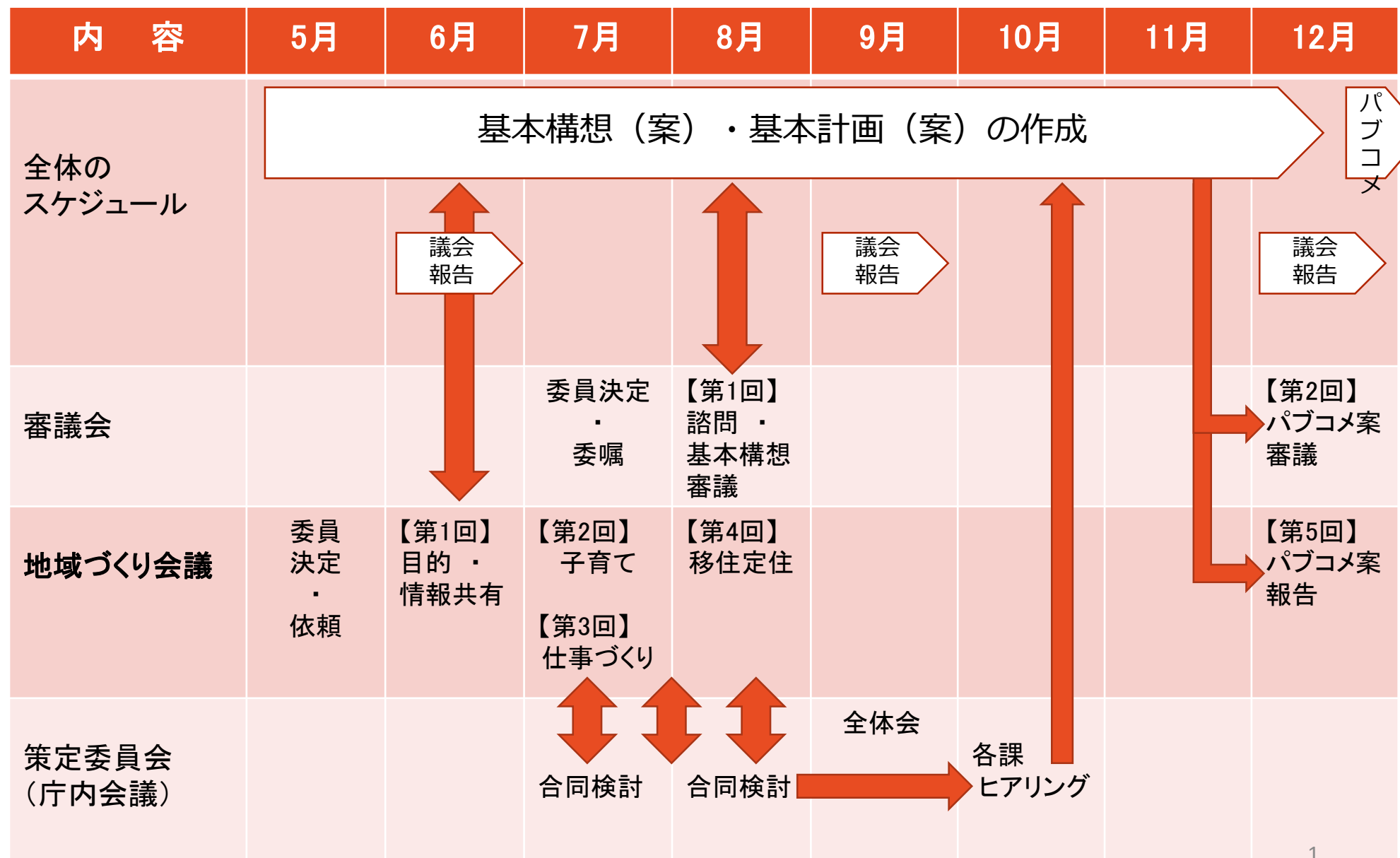
まちづくり政策課 企画調整係

第6次松川町総合計画全体像ビジュアル図

総合計画 × ウェルビーイングの姿



ここまでの経過（全体）



ここまでの経過(地域づくり会議の各回内容)

■ 第1回(令和6年6月14日)

テーマ「10年後の松川町を想像し、守りたいもの・変えるべきもの」

【守りたいもの】

自然環境、地域のつながり、農業や飲食店等の地元産業の力強さ、
教育機関(初等中等教育)の充実、学校給食、若者のチャレンジ環境

【変えるべきもの】

閉鎖的な雰囲気、固定観念の押し付け、公園やスポーツ施設の不足、
メンタルヘルスや居場所の充実、自治会や消防団等の組織運営の見直し、
高齢者が農業を支えている現状

ここまでの経過(地域づくり会議の各回内容)

■ 第2回(令和6年7月4日)

テーマ「“子育て”をキーワードに町の施策や事業につながるアイデアを考える」

【グループワークの主な意見・提案】

ランドセルやリュック等の入学必需品の支給

通学路や公園整備ほか親が子どもを安心して送り出せる環境整備

子育て世代が安心して集える場所(屋内)の整備

子育てに関する情報の一元化

土日勤務や病気時の子どもの預け先等多様な働き方に対応した支援

若い人や高校生がふらっと立ち寄れる居場所づくり

子どものコミュニケーション能力を育む場の提供

ここまでの経過(地域づくり会議の各回内容)

■ 第3回(令和6年7月25日)

テーマ「“仕事づくり”をキーワードに町の施策や事業につながるアイデアを考える」

【グループワークの主な意見・提案】

農業分野における後継者不足を解消する施策

後継者育成に資する支援の充実

仕事に関する教育や体験の充実(農村留学、就業体験)

都会の企業が利用できるサテライトオフィスや保養所の設置

リニア開通を見据えビジネスでも公共交通の充実

リニア開通と結びつけた二拠点生活の推進

外部環境の理解と交流に繋がる取組の推進(ビジネスマッチング)

キャリア経験を積んでのUターンがしやすい環境整備

スタートアップに留まらない継続的な起業支援

これまでの経過(地域づくり会議の各回内容)

■ 第4回(令和6年8月8日)

テーマ「“移住・定住”をキーワードに町の施策や事業につながるアイデアを考える」

【グループワークの主な意見・提案】

定住対策としての病院・買い物・交通の利便性向上

移住者と地元住民とのつながり改善

田舎の良さを生かし「癒しの場所」としての町の発展

特色ある保育園・学校づくり

田舎特有の過干渉や近隣住民との距離感の改善

自然環境や森林豊かさを活かした地域の活性化

ここまでの経過(策定委員会)

■ 会議の目的

- ① 計画原案の作成、審議会や地域づくり会議での意見の調整。
- ② 地域づくり会議での意見が、各課各係の立場で基本計画に落とし込めるか検討。

■ 日程 全体会 … 9月19日

各課ヒアリング … 10月2日(保健福祉課・こども課・産業観光課)

10月3日(生涯学習課・建設水道リニア対策課・住民税務課)

10月4日(総務課・議会事務局・まちづくり政策課)

■ 基本計画における取組の設定方法

- ① 町民意識調査(ウェルビーイング指標)による分析
- ② 地域づくり会議の意見・提案
- ③ 町政・各課係で特に力を入れていく事項
- ④ 現計画の基本施策の評価(要改善・拡充事業等)
- ⑤ 個別計画と連携して取り組んでいく必要がある事業

■ 策定にあたって心掛けた点

◎ 地域住民との協働

地域づくり会議、町民意向調査により住民の考えを反映させる。

◎ 現計画からの継続と発展

まちづくりの将来像を時代の変化に応じて再認識する。

◎ 計画の可視化と実効

よりシンプルにわかりやすく、使いやすい計画にする。

◎ 重点分野の明確化

現町政で特に注力したい分野を明示して取組を推進する。

◎ 地域幸福度指標(Well-Being指標)の導入

計画の策定から評価に至るまで活用する。

第6次松川町総合計画の特徴(現計画との対比で見る)

項目	第5次松川町総合計画改定版	第6次松川町総合計画
計画の構成	基本構想+基本計画+実施計画	基本構想+基本計画
計画の期間	4年間 ※のちに1年延長して5年間 (首長選を経ると策定期間がタイト)	4年間 (首長選と策定期間を実務的に連動)
コンセプト	「SDGs」を踏まえた計画	「Well-Being」を起点とした計画
基本構想	【まちづくりの将来像】 いっしょに育てよう 一人ひとりが輝く 笑顔あふれるまち まつかわ 【実現プロセス】(3つの柱) ① あなたの想いを生かします ② 人のつながりを大切にします ③ 住みよいまちをつくります	【まちづくりの将来像】 同左 【実現プロセス】 一人ひとりの幸せ実感 (ウェルビーイング)を高めます
基本計画	計画全体の基本方針(5) 施策大綱(19) 施策大綱毎に紐づく基本方針(51) 基本施策(66)	施策領域とそれに紐づく基本方針(24) → 地域幸福度指標24因子と連動 想定する取組(155)

シンプルに！

過去の計画から
継承と発展！

見やすく！
よりシンプルに！

第6次松川町総合計画の特徴(現計画との対比で見る)

項目	第5次松川町総合計画改定版	第6次松川町総合計画
個別計画との連携	全ての計画の最上位計画であると明記	同左 + 施策領域毎に関連する計画を明記 + 個別計画側でも地域幸福度を活用
目標指標	アウトプット指標 【計画全体の成果指標】 なし 【施策大綱毎の成果指標】 54	アウトカム指標(地域幸福度指標活用) 【計画全体の成果指標】 2(町民幸福度・町民生活満足度) 【施策領域毎の成果指標】 55(主観指標46+町独自設定9)
進捗管理	① 町による自己評価 ② 行政評価委員会による外部評価	同左 + ③ 町民意向調査を毎年実施 (地域幸福度標準設問・町独自設問) →多くの住民に評価に参加してもらえる

相互連携！

「やります！」
「やりました！」
からの脱却。
「で、どうだったの？」
に迫る！